

バス停タイムス

2017年8月7日

No.42

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

SEKと団体交渉開催！

私たちは7月27日、「労働条件改善」のためにSEK会社と団体交渉を開催しました。

SEK作業責任者には仕業検査経験者を！

仕業検査のSEK作業者は、時間さえ許すならば修繕作業を十分にこなす意気込みで働いています。しかし、SEK責任者と当直との連携や判断に左右され、思うようにいかない場合があります。そこで、『SEK責任者には仕業検査経験者を充当した方が作業内容を把握しているのでスムーズな判断と指示が出来る』また、『無線連絡は、必要最小限にして作業性を良くするべきだ』と改善を求めました。

SEK会社は「特段問題はない」「そのような考えはない」と現実を認めようとしませんでした。私たちは、作業者の声をしっかり聞き入れて改善するべきだと強く主張しました。

「社員が自主的にやっていること」？！

始業点呼前の鍵や工具の貸し出しは、労働時間外の作業準備・サービス労働であるため、直ちにやめることを求めました。しかしSEK会社は、「社員が自主的にやっていること」、「サービス労働とは認識していない」、「これからも続ける」という驚く回答でした。

点呼前に準備しないと、作業場所に時間までに移動できないという現実を無視し、社員が自主的にやっているなどというのは、誤魔化しであり許されません。

私たちは、これまでの分は「賃金未払い分」として支払うべきだと主張し、改善を強く求めました。

曖昧な要員配置の改善を！

夜間の修繕作業では、作業が重なると所定の作業要員が減らされてしまうケースがあることについて、SEK会社は「作業時間と作業量に合わせて適切な要員を配置している」としか答えず、そもそも作業に対する基本要員が不明確であることが明らかになりました。このような曖昧な要員配置が労働強化や健康を害することにつながるため、直ちに改善することを強く求めました。

私たちは、これからも出向先会社の労働条件改善をめざして闘います！

今度はSMTと団体交渉を行います！

私たちJR東海労は組合員が出向しているSMT会社に対して、「労働条件の改善」を求めて8月10日に団体交渉を開催します。

遅番の連続勤務は疲れてへトへトだ！

SMTは3月から業務体制が大きく変わりました。

日勤事業所では、11時05分～20時までという遅番勤務ができたことにより、生活パターンが大きく変わってしまいました。心配していたように勤められず辞めた人も多くいたと聞きます。このパターンは帰宅が遅くなり、翌日の勤務までに疲労が回復できないということがはっきりしてきました。また、遅番が連続するというように、勤務に偏りがあります。

これからますます暑い日が続き、繁忙期になればさらに業務量も増えることは明らかです。「このままでは身も心ももたない！」という声が聞こえてきます。前体制に戻すことを要求します。

連続作業で疲労度は極限状態！

夜勤事業所では4班から1班減った3班体制になり、作業量が大幅に増えました。3時間以上連続で動きっぱなしで、トイレにも行けないという状況も発生しています。

さらに、7月から突然3班を細分化して5班体制にしました。これは3月の体制見直し失敗だったということの意味します。また、労働条件の変更にもかかわらず、労働組合に対する提案や説明も全くありません。前体制に戻すことを要求します。

倉庫担当と三島事業所の作業環境改善も要求！

大井の倉庫担当の一昼夜勤務体制を解消し、日勤・夜勤勤務とし各2名体制とすることや、座席汚損対応における感染予防対策の徹底を求めます。

三島事業所の洗濯場の換気状態の改善や、年休取得できない問題の解消などについても要求します。

SMT会社は従業員の「安全と健康」に対して責任をもって対処すべきです！

安全と健康を守り、働きやすい職場環境を目指して、一緒に声を上げましょう！！

連絡先(新幹線地本)

ホームページアドレス

メールアドレス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 TEL03-3201-0350

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>

jrcushinkansen@yahoo.co.jp